



## GY-HM185/GY-HM280「NDアシスト」機能の設定方法について

・追加・変更された機能や表示変更についてのお知らせです。「取扱説明書」とあわせてお読みください。

### どうしてNDフィルターが必要なのか？

動画撮影において、NDフィルターの役割は大きく、最終的にシャッタースピード、露出、被写界深度、ゲイン量などを決める重要なパーツの1つです。最適な画質で撮影していただくには、屋内と屋外、撮影時の天候状況に応じてNDフィルターを選択していただく必要があります。

#### ■「NDフィルターとは・・・」

ND (Neutral Density) フィルターとは、発色に影響せず、レンズからの光の量を調整するために使用されるフィルターです。いわゆる人間が使用するサングラスのようなものです。

NDフィルターには光量を1/4にする(減光する)ND4、1/8に減光するND8、1/16に減光するND16などがあります。一般的な写真撮影では、シャッタースピードを速くしても問題なく撮影ができ、特にNDフィルターを使わないでも適正な露出で撮影ができます。あえてシャッタースピードを遅くしたスローシャッター撮影やなるべくレンズの絞りを開放にして、背景のボケ味効果を演出した撮影などに使用されます。

#### ■ NDフィルターの選択の目安

GY-HM185 および GY-HM280では、曇りの屋外(10,000 lx)の場合は1/4減光、晴天の屋外(100,000 lx)の場合は1/16減光のNDフィルターに設定することで、最適な画質になるようにしてあります。

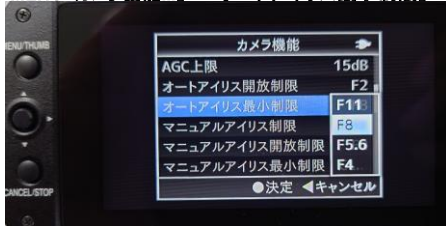
#### ■ 動画撮影に適した「シャッタースピード」

一般的に動画では、動く被写体を滑らかに撮影するため、シャッタースピードに制限を設けています。これは、ビデオカメラやTVモニターの「フレームレート」が関係しています。「フレームレート」とは、1秒間に表示可能なコマ数のことで、30fps (frame per second) では1秒間に30コマ、60fpsでは1秒間に60コマの映像を表示し動画にしています。このフレームレートの1倍(同等)から2倍程度が適切なシャッタースピードとされ、動画を違和感なく撮影できます。動画の場合、1コマ1コマの被写体のつながりで発生する「画面のブレ」が画像のつなぎとなり、滑らかな映像を作り出します。GY-HM185 および GY-HM280では、フルオート撮影時のシャッタースピードを1/60秒基準に設計されています。あまり速すぎると「画面のブレ」が映らないため不自然になり、逆に遅くしても、コマ数が不足しカクカクした描写になってしまいます。また、屋内蛍光灯下のチラツギが画面に映り込むフリッカー現象を回避するため、マニュアルモードにてシャッタースピードを調整する方法もあり、東日本エリアでは、1/50秒 または 1/100秒、西日本エリアでは1/60秒でフリッカーを防げます。

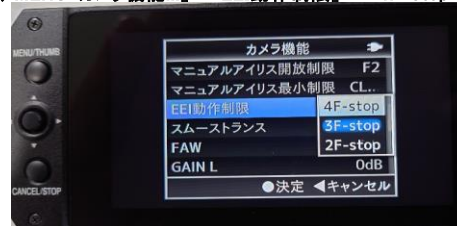
### フルオート撮影での「NDアシスト」機能の設定方法

GY-HM185、GY-HM280には、フルオート撮影時でもNDフィルターの選択をアシストする機能が搭載されています。下記設定にすることで、「NDアシスト」機能が動作し、白飛びを抑えた適正AEでの撮影ができます。また、常にGAIN および 絞りの動作状態を表示させて確認が可能です。

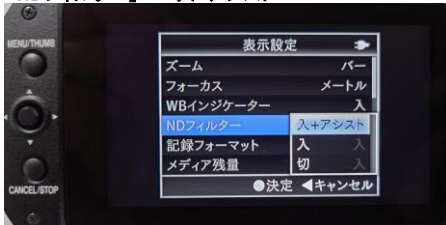
1) MENU「カメラ機能...」→「オートアイリス最小制限」→「F8」



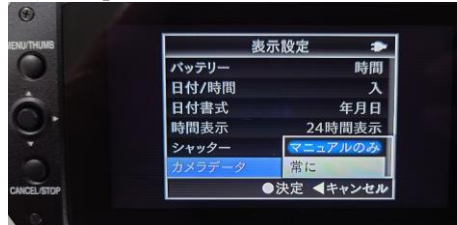
2) MENU「カメラ機能...」→「EEI動作制限」→「4F-stop」



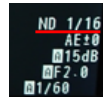
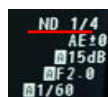
3) MENU「LCD/VF設定...」→「表示設定...」→「NDフィルター」→「入+アシスト」



4) MENU「LCD/VF設定...」→「表示設定...」→「カメラデータ」→「常に」



5) 「NDアシスト」表示がされます。



“ND off”、“ND 1/4”、“ND 1/16”が点滅してNDフィルターの切り替えをお知らせします。